

学校だより

10月号

平成27年 9月30日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

「大きい秋」みつけた

校長 井出 了一

運動会は、前日降り続いた雨でグラウンドの水抜きから始まりました。しかし整備を始めると、おやじの会をはじめ多くの方々が積極的に手を貸してください、すっかり綺麗になった校庭で、秋らしい涼しさの中、無事に実施することができました。子どもたちは、たくさんの皆様の御協力と声援を受けて、力いっぱい頑張りました。



2学期に入って雨の日が多く、練習も思うように進められずに心配しましたが、本太小の児童は、短時間でも集中して取り組み、本番で素晴らしい演技や応援を見せてくれました。特に、ラストの組体操は、「感謝」をテーマに静と動メリハリの利いた演技で、家族や友達への気持ちが伝わりました。

この後、6年生は修学旅行で日光を訪れ、自然の大切さや歴史の重みを学んできます。折しも徳川家康公没後400年ということで脚光を浴びています。世界遺産の地で、6年間ともに過ごした仲間と貴重な思い出をたくさん育むことでしょう。他の学年も遠足や読書まつり、地域のドッジボール大会など、たくさんの行事が控えています。充実した体験を通して「実りの秋」を満喫してほしいものです。

～ ヒガンバナの咲く季節に ～



まだ暑さの残る9月中旬、荒川の土手で真っ赤なヒガンバナ（彼岸花）の大群を見つけました。曼珠沙華とも呼ばれるこの花は、墓地などに多く咲くことから、どうしても嫌われることも多いようです。しかし私は、野草など自然の写真を撮るのが好きで、この花は被写体としてとても魅力を感じます。周囲の土手が深い緑色の時期に、ハッとするような鮮やかな赤い花。葉はなく、真横から見ると茎の上のおしべが繊細なカーブを描いて広がります。

以前、子ども向けの野草図鑑を作るために、この花について調べたことがあります。球根にはリコリン（アルカロイドの一種）という毒があるそうです。美しい花なのに悪い印象が多いのは、子どもが誤って口にしないようにするためだとも言われています。田んぼのあぜ道や土手でよく見かけますが、これはノネズミが穴を開けるのを、毒性のある植物を植えることで防ぐため、また、彼岸花の根茎は強いので、植えて崩れにくくするためにも役立っているそうです。

同じ植物なのに、忌み嫌われたり、写真家の人気を得たり。また、毒を持っていたり、その毒が人の役に立ったり、実に興味深いものです。

運動会では、学校安心メールでの情報提供を活用させていただきました。皆様の声を受けて、今後メールのタイトルを整理します。日課や下校時刻の変更、不審者情報等は **！緊急！【本太小安心メール】**、行事関係や確認事項は **連絡【〇〇〇】**、テスト送信やトピック等は **一般【〇〇〇】** のように区別します。ご活用ください。

